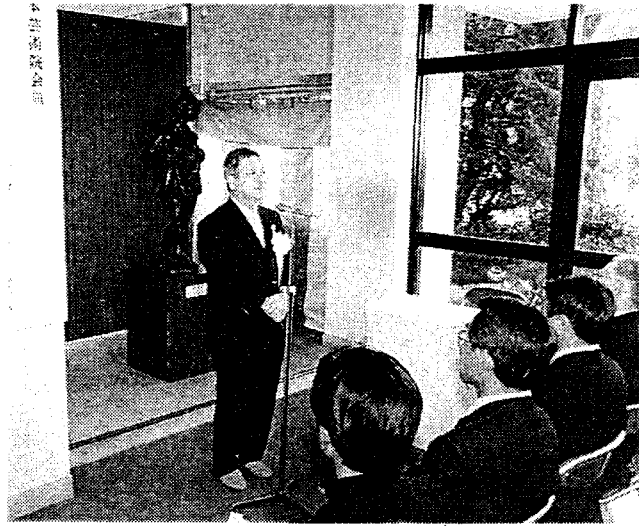


平成6年 2月26日(土) 三重版
「神戸高にブロンズ像 前身中学OB彫刻家中村さん 自作寄贈し除幕」

[17] **三重総合** 1994年(平成6年)2月26日(土曜日)

神戸高にブロンズ像

前身中学OB
彫刻家中村さん
自作寄贈し除幕



中村さん(左)が除幕式で挨拶する様子。

鈴鹿市の県立神戸高校で二十五日、同校の前身の旧制神戸中学校を昭和十九年に卒業した彫刻家中村晋也さん(鹿児島県在住)から寄贈された自作のブロンズ像の除幕式があった。

中村さんは三重県出身。

昭和十九年、くしくも除幕式と同じちよつと五十年前の二月二十五日に卒業した。現在は鹿児島大学名誉教授で日本芸術院会員。日展常務理事審査員も務めている。

寄贈したブロンズ像は、

長年総理官邸に飾ってあったという中村さん所蔵の

寄贈した自作のブロンズ像「水辺の囁き」の前であいさつする中村さん＝鈴鹿市の神戸高校で

「水辺の囁き(ささや)き」と題した少女像(高さ約一・二メートル)。台座は同級生らが寄贈した。

除幕式は神戸高校玄関の現地であり、中村さんをはじめ衣斐賢議鈴鹿市長、加藤栄貞議副議長、長谷川清一市議ら同級生、同窓生を中心に約四十人が出席。

中村さんと生徒代表の計三人が像の白幕のひもを引いて披露した。続いて中村さんが「母校はいいですね。あちこちに青春がいっぱい詰まっている」と感無量の様子であいさつした。